

令和6年度 第3回八幡地域協議会 会議要録

日 時：令和7年3月21日（金）19時～20時

場 所：郡上市役所本庁舎 4階 大会議室

出席者：（八幡地域協議会委員）

先山祥一、加藤徳光、鈴木美好、兼山勝治、山下優子、河合研、坪井壽人、
吉住耕次、村瀬正人、井森淳正、武藤里恵、後藤正和

（オブザーバー：市議会議員）本田教治議員

（事務局）清水八幡振興統括、木嶋課長補佐、地口主任主査

欠席者：（八幡地域協議会委員）

石神修治、山尾淳、三島友美、細川竜弥、山田昌昭、山田篤司、田中武之

傍聴者：なし

開 会（進行：木嶋政策推進課長補佐）

1. あいさつ（先山会長、清水統括）

2. 報告事項

（1）先進地視察の報告について

資料により、事務局から2月10日（月）に実施した、飛騨市役所地域包括ケア課及び
神岡町東茂住郵便局への先進地視察について報告した。

【参加委員感想】

（委員）東茂住郵便局周辺は、少子化が非常に進んでおり、県を跨いで通学している子ども
が1名というような状況であった。そのような中でも地域の人々が協力し合っている
姿を見ることができ、前向きな取り組みを行っていることが感じられた。

（委員）大雪の中での視察で参加者にはご心配をお掛けした。視察を通じて、地域内の事業
者が活動に大きく関わっていることを実感した。地域振興に係る人々の支援の重要性
や地域の活動が大切であることを再確認した。連携や協力を通じ、新たな地域発展の可
能性を探る視点も得られたと感じる。

3. 協議事項

（1）令和7年度地域協議会事業について（事業計画、予算配分）

資料により、事務局から令和7年度の全体会の事業計画（案）、予算（案）及び交付金

配分（案）を説明し、令和7年度の交付金を申請する各单位協議会から、それぞれの事業計画（案）及び予算（案）の説明を行った。

→承認（意見は下記のとおり）

【意見】

（委員）相生の荷車楽市の予算について、楽市の開催は7回となっているが、8回分のチラシ代を計上している理由を教えて欲しい。

→（地区委員）荷車楽市の7回、アイオイパーティーの1回分を計上している。

（委員）全体会の事業の課題検討事業については、内容は具体的に決まっているか。

→（事務局）課題検討部会の中で意見をいただいた市内外から講師を招聘して勉強会等を開催する費用として積算をしているが、今年度実施したアンケートと同様に、課題検討部会の中で優先的に実施したい取り組みが具体化した際は、その事業に充てていく予定である。

4. その他

・小さな拠点推進補助金の要綱廃止について

資料により、事務局から小さな拠点推進補助金の要綱の廃止について説明を行った。なお、要綱の廃止に関し、今後、課題に応じた支援策等の検討、事業化等については、各所管部にて行っていく方向である旨についても併せて説明を行った。また、小さな拠点づくりや地域運営組織の取り組みは、継続して実施するものであり、地域協議会においても継続して検討をお願いします。

【意見】

（委員）説明のあった高齢福祉課の補助金については、新規の個人事業者のみへの支援となるか、既に継続して実施している事業者は該当とならないか。

→ご意見については高齢福祉課に伝え、回答する。

・アンケートの実施状況について

事務局から、課題検討部会で実施した日常の買い物や移動手段に関する市民アンケートの実施状況について報告した。実施時期は1月末から配布し2月末期限で回収をした。送付数は当初計画500通から地区のバランスで少し増やして513通発送した。回答数は389通で回答率は75.8%となった。集計については、今回の全体会には間に合わなかったが、次回の課題検討部会において、集計データを基に協議をお願いしますの予定である。

・次回の全体会議について

事業計画のとおり、次回は5月開催とする。

5. オブザーバー講評

皆様の活動報告を聞き大変安心した。山川市長体制に変わり、新年度がスタートする。様々な事業の見直し、削減もあるが、活動する所には予算をつけ、活動のないものは削減という方向性である。八幡地域協議会では、本日の協議において事業計画、予算も承認され、新年度の活動も期待している。国も言うように地方創生は肝いりである。小さな拠点も含め地方創生を念頭に今後の活躍をお願いする。

閉 会